

病院機能評価認定を 更新しました



機能種別版評価項目3rdG: Ver1.1
主たる機能: 一般病院1
副機能: リハビリテーション病院

当院は2006年12月に初めて病院機能評価 (Ver5.0) を受審し認定病院となりました。その後2012年4月に認定更新 (Ver5.0) を行っています。今回3回目の受審を行い無事に認定更新することができました。今回は新しいバージョンでの受審 (3rdG: Ver1.1) となりました。また、当院はリハビリにも力を入れているため、副機能としてリハビリテーション病院を受審し、認定を得ることができました。

病院機能評価とは、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、第三者によって病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価してもらうものです。病院の位置付けや問題点を明らかにしてもらい、それに対する改善活動を継続することで、病院の質を向上させていきたいと考えています。

栄養科より

謹賀新年
2017年 1月1日

明けまして、おめでとうございます。
今年も皆様の健康を願い、安全で美味しい食事の提供を志し、
努力してきたいと思います。
今年初めての行事食はお正月献立です。
入院中でお正月のひとときを味わっていただけたら嬉しいです。



朝食 (常食)	
★ごはん	★エネルギー 442kcal
★椎葉風清まし汁	
★伊達巻と八幡巻	★蛋白質 17.8g
★ふりかけ	



昼食 (常食)	
★赤飯	★エネルギー 633kcal
★松風焼き	
★茶碗蒸し	★蛋白質 28.6g
★なます	



2日昼食 (常食)	
★ちらし寿司	★エネルギー 483kcal
★しんじょう	
★わかめの吸物	★蛋白質 16.5g
★きな粉プリン	

外来診療担当案内

		月	火	水	木	金	土
外科	午前	森垣	花井	院長 安田 伊東 河合	森垣	院長 梅木	院長 浅野 高橋(隔週)
	午後	森垣	院長 花井	河合	森垣	梅木	
整形外科	午前	中川	早川 (安藤(月1回))		中川 (加藤(誠))		
	午後	中川		見松 (安藤(月1回))	中川		
脳神経外科	午前		吉田				
	午後					熊井 (加藤(月2回))	
脳神経内科	午前		高津			高津	高津(隔週)
	午後						
循環器科	午前	小林 星野					
	午後	小林 高木	鷹津(隔週) 西村(隔週)	加藤(靖) (第1、3)		鷹津	
内科	午前		浅田				早川(隔週)
	午後				渡邊		
皮膚科	午前						
	午後		湯浅			入野	

医療法人 明和会 辻村外科病院
〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島20-1
Tel(0566)36-5200 Fax(0566)36-5561
http://tsujimurageka-hp.com/

発行日: 2017年1月10日 発行者: 辻村外科病院広報委員会

広 報 つじむら 第 2 2 号

基本理念

Smile&Harmony
～明るい笑顔と調和～

基本方針

- ・いつも明るく患者様の満足を常に考え、医業に専念します。
- ・地域に働く人々及びその御家族の幸せを第一に考え、信頼される調和のとれた病院を目指します。
- ・同じロマンを持つスタッフがー丸となり得られた成果を社会に還元し、医療の質向上に努めます。

患者様には以下の権利と責任があります。

- ・個人としてその人格を尊重され、適切な医療を平等に受ける権利があります。
- ・病名、病状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。
- ・治療法など自らの意思で選択する権利があります。
- ・個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- ・これらの権利を守るため、患者様は医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。



ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

日頃は病院運営にあたり格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当院は昨年の10月に日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」を受審いたしました。「病院機能評価」は一般の皆様にはなじみが薄いと思いますが、簡単に言いますと第三者が行う「病院の健康診断」といったものになると思われます。審査は数百に上る審査項目からなり、すべて適正と判断されると「認定証」が発行されます。この審査を10月19日、20日に受審し、無事に3回目の認定を得ることができました。(機能評価は5年ごとの更新が必要です。)

病院機能評価には、常に継続的な質改善が求められております。当院もまた5年後の受審に向けて、病院を更によくするための努力を怠らず一歩一歩確実に歩みを進めて参りたいと思います。

皆様方には、今後ともご指導・ご鞭撻賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

平成29年1月

医療法人 明和会 辻村外科病院

院長 辻村 亨

病気の説明シリーズ Vol.22

高尿酸血症 1

最近、高齢者だけでなく若い方にも増えている高尿酸血症について2回にわたり説明します。1回目は「高尿酸血症とは」を説明します。

(監修: 院長 辻村 享)

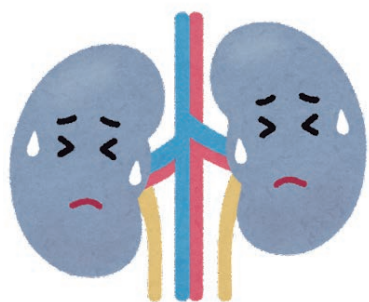
高尿酸血症とは

尿酸は核酸の一種であるプリン体の代謝最終産物であり、名前が示すように尿中に排泄されます。尿酸の産生過剰や排泄の低下によって血中の尿酸濃度が高まった状態が高尿酸血症です。一般的には血清尿酸値7.0mg/dl以上を高尿酸血症とします。

高尿酸血症の分類

高尿酸血症は、尿酸産生過剰型、排泄低下型、混合型に分類されます。

この分類に沿った診断は治療薬の選択にも大切なことですので、血液中の尿酸と尿中の尿酸を測定して診断します。



高尿酸血症の原因

尿酸産生過剰の原因としては、酵素異常による遺伝性の代謝疾患、造血器疾患、筋肉異常(さまざまな代謝・内分泌疾患にともなう)、薬剤(抗腫瘍薬、テオフィリン、イノシン)、高プリン食(プリン体の多い食事)などが挙げられます。

高プリン食の代表的なものはビールです。ビールには酵母由来のプリン体が多く含まれていますが、最近はプリン体を少なくした発泡酒も出回っています。

一方、尿酸排泄を低下させる原因には、腎不全、脱水、尿崩症、ケトosis、高尿酸血症、薬剤(サイアザイド、フロセミド、ニコチン酸、サイクロスポリンなど)があります。

肥満の場合には、混合型が多いようです。



高尿酸血症の合併症

高尿酸血症は腎臓に負担をかけ、痛風の原因になるために予防と治療が必要となります。痛風は昔「帝王病」ともよばれて、古来から知られていた疾患です。痛風は長期間持続する高尿酸血症のために関節内に尿酸・尿酸塩が析出し、その結晶によって急性関節炎(痛風発作)を引き起こし、さらには腎障害をもたらす疾患です。



病院行事紹介



2016年10月4日

回復期リハビリテーション病棟にてお月見会を行いました。



2016年10月30日

妻籠宿へ親睦会日帰り旅行に行きました。
(ランチは屋神グランドホテル)



2016年12月17日

ヒルトン名古屋にて忘年会を行いました。

